

# 芸術教育カリキュラム 開発支援(美術)

カンボジアに適した  
質の高い教育を目指して



A



## 【事業対象者】

- スバイリエン州4郡14校、カンポット州3郡18校
- 学校長32名(1校1名×32校)、教員64名(各校から選抜された2名×32校)
- 州・郡教育局職員9名
- 各学校の生徒及び地域住民



B



C



D

## ■2014年度絵画展受賞生徒及び参加生徒への賞品授与、関係各所への画集寄贈(2015年8月)

対象地域へ赴き、絵画展の受賞者及び参加者へ賞品及び画集を贈呈しました。基本的には郡教育局から各校への配布を依頼しましたが、大賞については直接学校を訪問し、受賞者へ直接贈呈しました。【写真B】

また、本年度の参加賞は、対象校の美術授業継続の一助となるように、州の教育局とも相談し、各生徒に配る形ではなく、参加人数にあわせてまとめて画材を購入し各学校へ寄贈しました。同時に、日本で集められた支援物資の画材も加えて配布することができました。

## ■自校開催の絵画展のための説明及び画材寄贈(2016年1月)

プロジェクト対象校32校が独自に行う自校開催の絵画展支援として、画材寄贈及び絵画展補助費の提供、開催内容の打ち合わせを行いました。各州1泊2日の短期間での出張となったため、州教育局の職員と話し合い、各郡教育局に対象校の学校長及び対象教員を集め、本年度の自校開催の絵画展について説明を行いました。昨年度の各校の経験や本年度のプランなどを共有し、絵画展に向けての新たなアイデアを交換する良い機会となりました。【写真C、D】

## ■自校開催絵画展視察及びフォローアップインタビュー調査(2016年3月)

美術教育専門家である鈴木光男氏に同行いただき、絵画展視察と同時に、対象校における美術授業に関するフォローアップ調査及び美術教育カリキュラム及び指導書の改訂のためのインタビュー調査を実施することができました。訪問した学校では、昨年度の経験を踏まえて展示にも更に工夫が見られました。また、生徒による投票で優秀作品の選考が行われた学校もあるなど、学校行事としての絵画展の継続と発展が期待される結果となりました。【写真A】